

図書館だより

2025.3.17 No. 29

年齢を重ねてから気づく本を読むことの面白さ

健康スポーツ栄養学科 吉川 豊

「書物」というもののほど世代によって意識が変わるものがどれほどあるのか、と考えさせられる毎日を過ごしています。根っからの理系人間かつ義務教育時代に国語嫌いだった私は、大学生時代は専門書しか読まず、小・中・高校時代は長期休暇中の読書感想文がどうしても好きになれず、いつも流し読みをしたり、ドラマ化した作品をみたりして感想文を作成したり、とても褒められたものではない作品を提出していた記憶があります。このような私が教員となり学生を指導することになり、今一番痛感していることは、例えられるものの少なさに他なりません。貧困な語彙力と文章力を駆使して分かりやすく、的確に伝えられるようにするにはどうしたらよいかと考える毎日です。

このような私でも読書というものに対して転機になった作品があります。それは、高等学校の国語の課題の一つであった、三浦綾子作の「塩狩峠」を読んで感想を書くというものでした。この話は皆さんご存知のように、自らを犠牲にして大勢の乗客の命を救った青年の実話に基づいた物語です。この当時の私自身は進路や将来について深く悩んでいたことともあいまって、すごく心に刺さり、いつもなら、漠然と読んで感想文を書いていたにもかかわらず、2～3日の間で一気に読み切りました。「ヒトのために命を捧げるといった感覚などもっていなかった私の心の中に、世のため人のために何かをすることがこれほど美しく素晴らしいものなのだと、感じさせてくれました。それ以降三浦綾子氏の信者になり、北海道に旅するたびに三浦綾子記念文学館に甲斐甲斐しく通うようになっています。このように、本を読むという事にわずかながら興味を持ち始めたのが遅かったこともあり、小さい頃に読むことの多い日本や世界の名作集などは自宅の本棚に

きれいに整頓されていた記憶はあるものの、内容の記憶が少ないまま成長してしまったことを後悔している毎日ですが最近子供とともに絵本を読む機会に恵まれ、これはチャンスとばかりに子供以上に大人が絵本を読みあさっています。

直近では、クリスマス前に毎日カレンダーをめくりながら、色々な絵本がでてくるアドベントカレンダーの「せかいのめいさくえほん ブルーバージョン」を購入し、12/1から24まで毎日子供と一緒に名作に触れる機会を得ました。出てくる書籍は、「びじょとやじゅう」「ながぐつをはいたねこ」「みっつのねがい」などから「クリスマスキャロル」までの24冊です。これらのタイトルを眺めた時には、まったく聞いたこともない絵本もあり、教養の無さを痛感しましたが、どの絵本が出てくるのだろうというワクワク感を持ちながら絵本のドアをあける毎日でした。子供の絵本とはいえ、大人の世界に当てはめて考えると役立つこともあり「みっつのねがい」を読んだ時には、もし本当に三つの願いが叶うなら「あと10歳若くなりたい」、「誰も見つけていない原理を見つけたい」、などと非現実的な事ばかりあれこれ考え、子供の「恐竜博に行きたい」、「船に乗りたい」、などという現実的な内容と比べながらとても楽しく書籍と交わることになりました。

読書と言ってしまえば、なかなかハードルが高い場合も、もう一度子供の頃に読んだ絵本を読み直すという事であれば、比較的低い階段となり、読みふける機会にもなるのではないかと感じています。よく「故きを温ねて新しきを知る」と言いますが、日常のふとした出来事に関してもこの諺を思い出し、遅ればせながらも色々な書物にこれからも触れていきたいと感じています。

先生とブックトーク



日本語日本文学科

池田 彩音 先生

看護学科

高橋 秋絵 先生



子どもの頃に読んだ本の中で印象に残っている本を教えてください。

池田 先生

福永令三氏著「クレヨン王国」シリーズ(青い鳥文庫)の本を多く読んでいたのを覚えています。動物たちが可愛らしく、うさぎの口ペが出てくる『クレヨン王国の花ウサギ』、『クレヨン王国口ペとキャベツの物語』が特に好きでした。

高橋 先生

小学生の時に図書館で借りて読んだ「ナルニア国物語」です。物語の不思議な世界観に引き込まれて、あっという間に読み切ったことを覚えています。ワクワクしながら本のページをめくって、時間を忘れて読んでいました。



大学時代に読んだ本の中で印象に残っている本を教えてください。

池田 先生

田辺聖子氏『おちくぼ姫』(角川文庫、1990年)が印象に残っています。平安時代に成立した『落窪物語』をもとに、現代語でわかりやすく面白さが引き立つように書かれており、『落窪物語』そのものがより好きになりました。

高橋 先生

大学時代に「ハリーポッター」シリーズが刊行されていて、本屋さんで予約して購入して数時間で読み切っていました。魔法というワードは今でも私にとって、胸をときめかせてくれるもののような気がします。



現在の学生に、ぜひ読んでほしい本を1冊紹介してください。

池田 先生

冲方丁氏『はなとゆめ』(角川文庫、2016年)をお薦めします。この本は、『枕草子』や清少納言の歌集をもとに、清少納言を主人公として書かれています。この小説を読むと、登場人物たちがいきいきと描かれており、清少納言や『枕草子』に親しみを感じ、古典が読みやすくなると思います。

高橋 先生

金城一紀の「GO」です。直木賞を受賞し、映画化もされている20年以上前の作品です。自身のアイデンティティを確立していくプロセスは同年代の皆さんにとっても共感できたり考えさせられる作品ではないかと思います。



今までに見た映画・テレビドラマの中で、一番印象に残っているものを教えてください。

池田 先生

2006年新春スペシャルドラマで放送された、「里見八犬伝」です。このドラマを原案として、滝沢馬琴「南総里見八犬伝」を参考に書き下ろされた植松三土里氏『里見八犬伝』(小学館、2006年)を当時買い、いつか原文で読みたいと思いました。

高橋 先生

「ハリーポッター」シリーズの映画です。本が好きだったので、イメージしていた世界観がそのまま映像化されていてとても感動しました。何度観ても新たな発見があります。



先生の「理想の図書館像」を教えてください。

池田 先生

「理想の図書館像」は、多くの本を直接手に取って見ることができ、静かな空間で、実際には難しいことも多いと思いますが、本との出会いは運命的なものだと思っています。出会える本は多ければ多いほど良いと思っています。

高橋 先生

静かで自然が感じられる環境が理想です。風や本のページをめくる音がBGMになるような空間で、柔らかい光に包まれながら、ゆったりと本の世界に入り込めたら素敵だなと思っています。

図書館次長からのメッセージ

図書館には特別な時間・空気が流れている

幼児教育学科 畠山 由佳子

小さいころから図書館は私にとって特別な場所でした。好きなだけそこにある本を読んでいい、そして読みたい本をおうちに連れて帰ることができる太っ腹な場所。小学校の時から、高校生まで、私は長期休暇の度に地元の図書館に足しげく通い、一日中過ごしました。本の中では、私は世界のどこにでも行けたし、時代を超えることができました。図書館は「タイムマシンであり、どこでもドアのような存在」でした。

大学に進学し、学生という立場で図書館を利用するようになると、図書館は「勉強をするところ」になり、大学院で研究者の立場になると「調べ物をする場所」に変わりました。論文を書き上げるために、朝から晩まで必要な情報を探し、ノートを取り、さらに新しい文献を探して・・・1日中そこにいと、異次元にきたように時間が時にはゆったりと、時にはあっという間に流れていきました。

私が大学院生を過ごしたシカゴ大学の大学図書館 (Joseph Regenstein Library) は私が今までで一番長い時間を過ごした図書館でした。別名「牢獄」とか「フランケンシュタイン」と学生たちの間で呼ばれていたセメントのどつどつしたいかめしい建物でしたが、中に入ると凛とした空気と独特の「匂い」が漂っていて、そこに入ると「知」の空間にどっぷりと浸れる空間でした。当時、夜中の2時まで開館していた図書館で、試験やレポート締め切り前になると、多くの時間を過ごしました。先人たちが蓄えてきた「知」の一部になれるような、現在にいなながらも「過去の一部」であり「未来の一部」になるような感覚に浸れる場所でした。自分のワンルームの学生アパートにいるよりも、多くの時間を過ごした「牢獄」図書館での時間が私にとって「知」の一部になることの喜びを覚えてくれたような気がします。今でも記憶の一片に、あの「匂い」を感じることがあります。

図書館は大学の中でも特別な場所です。電子ジャーナルや書籍が手に入り、自宅に居ながら研究しやすくなった今でも、私にはお気に入りの図書館が世界にいくつかあります。自分が「知」に触れたいとき、その独特の時間の流れと空気に触れたいときに言葉がわからない外国でもその土地の図書館に立ち寄ることもします。ぜひ、学生の皆さんにも図書館の特別な時間と空気を味わってもらい、「知」に触れる体験をたくさん重ねてもらいたいです。

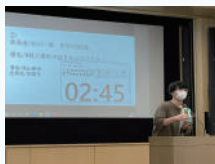
図書館活動報告

須磨図書館

♡ 学生ボランティア活動

2024

- 4月～9月
 - ・教員推薦図書「生活デザイン」
 - ・常設展示「歌枕生田の森」
- 4月～3月
 - ・移動展示「新着DVD案内」
- 4月
 - ♡ 図書館ボランティア活動開始
- 5月～3月
 - ♡ 企画展示「おすすめの電子書籍」
- 5月
 - ・選書ツアー開催
- 6月～9月
 - ♡ 企画展示「シラバス掲載参考図書」
- 6月
 - ♡ オープンキャンパスにてワークショップ開催
- 7月
 - ♡ セタおみくじ企画
- 7月～9月
 - ♡ 企画展示「怪談」
 - ♡ オープンキャンパスにてワークショップ開催
- 8月～9月
 - ・夏休み女子高校生図書館開放
- 10月～3月
 - ・教員推薦図書「おもしろおかしく、生物学を身近に」
 - ・常設展示「源氏物語の世界」
 - ・企画展示「源氏物語入門本」
- 10月
 - ♡ 季節展示「ハロウィンに読みたい本」
 - ♡ 全国大学ビブリオバトル予選会開催
- 11月
 - ・選書ツアー開催
 - ・トライやるウィーク受入
- 11月～3月
 - ♡ 展示「教科書シリーズ」
- 12月
 - ♡ 季節展示「クリスマスに読みたい本」
 - ♡ オープンキャンパスにてワークショップ開催
- 12月～1月
 - ・WEB選書ツアー開催



2025

- 1月
 - ・「感染症対策キャンペーン」消毒グッズプレゼント企画
 - ・読書マラソン優秀者表彰式
- 3月
 - ♡ オープンキャンパスにてワークショップ開催
 - ・春休み女子高校生図書館開放

PI図書館

- 4月
 - ・テーマ展示「新しい春 新しい私」
 - ・期間限定展示「観る×読む＝無限大」
 - ・期間限定展示「歴代本屋大賞受賞作」
 - ・廊下掲示板「図書館Q&A～利用者アンケートから～」
- 5月
 - ・選書ツアー開催
 - ・テーマ展示「児童福祉週間」
 - ・短大オープンキャンパス展示
- 6月
 - ・オープンキャンパス展示
 - ・廊下掲示板「あなたの知らない図書館の世界」
- 7月
 - ・テーマ展示「さあ！スポーツを楽しもう！パリ五輪」
 - ・期間限定展示「夏は旅へGO！」
 - ・期間限定展示「看護師のきもち」
 - ・オープンキャンパス展示
- 8月
 - ・オープンキャンパス展示
- 9月
 - ・オープンキャンパス展示
 - ・テーマ展示「自殺防止・いじめ・命」
 - ・期間限定展示「私たちと動物」
 - ・廊下掲示板「ターシャ・テューダー紹介」
- 10月
 - ・イベント「秋の読書まつり」
 - ・期間限定展示「これも愛でしょ？」「ハロウィン特集」
 - ・追悼展示「中川季枝子氏、せなけいこ氏」
- 11月
 - ・選書ツアー開催
 - ・トライやるウィーク受入
 - ・テーマ展示「11月11日は神女創立記念日」
 - ・期間限定展示「医療コミック特集」「クリスマス特集」
 - ・谷川俊太郎氏追悼コーナー設置
- 12月
 - ・利用者アンケート実施
 - ・期間限定展示「とっておきのおはなし」
 - ・オープンキャンパス展示
- 12月～1月
 - ・WEB選書ツアー開催
- 1月～3月
 - ・テーマ展示「あの日を忘れない！災害特集」
 - ・期間限定展示「芥川賞・直木賞」
- 2月～3月
 - ・期間限定展示「本屋大賞」
- 3月
 - ・読書マラソン等優秀者表彰式

須磨図書館ボランティア学生からの一言

P.N. いちごオレ

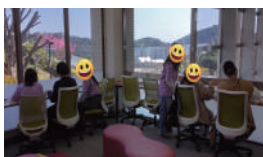
みんなと企画を考えたり、多種多様なものを作ったり、多くのことを学びました。また、学年をこえた友人ができ、かけがえのない時間を過ごせました。とても楽しかったです。

P.N. おもち

図書館の利用者が本を読みたくなるような展示ができるよう、努力しました。私たちの活動で、読書しようと思ってくれる方が増えれば幸いです。

P.N. みろく

今回図書館ボランティアでPOP作成に加え、季節の展示を行って楽しかった。オープンキャンパスでは館内案内やワークショップ等で様々な人と関わる事ができて充実した時間だった。



P.N. にぎりめし

図書館ボランティアとして活動する中で、自分の意外な特技に気づくことができました。本と触れ合う日々なので、「本が好きだ」「本を読みたい!」という気持ちが強まった気がする。

P.N. 桜

今年も本のPOP作成や配架などで、沢山の本に触れた一年でした。本に関わる活動は、とても楽しいです!

P.N. L.P.

工夫を重ねてPOPを制作し、図書館という場で様々な人と交流することで充実した活動を経験することができました。

P.N. きなこ

ポスター作成や配架作業などすべて楽しかったですが、特に季節の展示が印象に残っています。季節にあったPOP作成や飾りつけをすることがとても楽しかったです。

P.N. ねこ

前期の間だけでしたが、ボランティアに参加させていただきました。前年度に引き続き、POP製作やオープンキャンパスの案内など、様々な体験をすることが出来ました。来年度も参加したいと思います。

P.N. ほの

私は図書館ボランティアを始めて1年になります。最初は友達に誘われて参加しましたが、他学年の子と活動をしていく中で、図書館の利用者が読みたくするような本の展示をしたり、季節ごとの展示物を作って楽しく活動ができ、やりがいを感じました。特に私は、黒板アートに力を入れてインパクトが残るような作品を作ることができて楽しかったです。個人的には、3年生ということもあり図書館に通う頻度が多く、とても落ち着く空間で勉学に励むことができていたので大好きな場所です♡



読書マラソン 2024年度感想文受賞者

須磨図書館



最優秀賞 おもちさん
優秀賞 よるさん スギトさん
奨励賞 キリカさん だんごむしさん

PI 図書館



大賞 とろ煮あなご さん
図書館長賞 Mokaさん

受賞者代表 須磨 最優秀賞受賞者 おもちさんの感想

この度は最優秀賞という名誉な賞をいただき、誠にありがとうございます。

読書は、一人で読み、考えることが多いように思います。しかし、読書マラソンはその本を読んだほかの方の感想を見ることができ、大変貴重な体験だと思います。

私が読書をし、感想を書いて掲示していただいたものが、誰かの読書のきっかけになっていれればいいです。

2024年度 一番読まれた図書はこれ!

<2024年4月~2025年2月>

学部等	タイトル	著者
文学部	ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方：ワーク・ライフ・バランスと持続可能な社会の発展のために	多賀太著
家政学部	食育に役立つ調理学実習	西堀すき江編著；安藤京子 [ほか] 共著
	調理学実習：基礎から応用	高橋敦子 [ほか] 編著
健康福祉学部	地震イツモノート：阪神・淡路大震災の被災者 167 人に聞いたキモチの防災マニュアル	地震イツモプロジェクト編；寄藤文平絵
	地域包括ケア時代の地域包括支援センター	高橋紘士 [ほか] 共編
看護学部	発達段階からみた小児看護過程+病態関連図	浅野みどり，杉浦太一，山田知子編集
心理学部	滅びの前のシャングリラ = Shangri-La before the destruction	凧良ゆう著
短期大学	保育指導案大百科事典	開仁志編著
	日本語表現法：「書く」「話す」「伝える」ための技法	西尾宣明編著；苅野正美 [ほか] 著
	からだをうごかすえほん	のぶみさく